

株主のみなさまと東芝をつなぐ情報誌

2013年

2013年度第2四半期累計期間(4-9月)の当社グ ループの売上高は、電子デバイス部門でNAND型フ ラッシュメモリが好調に推移し、社会インフラ部門も太 陽光発電などの社会システム関連や、エレベータ、医 用システムを中心に伸長するなど、主要4部門全てが 増収で3兆392億円となりました。営業損益は、期初 計画の900億円を大幅に上まわる1,056億円と、前 年同期比で369億円の増益となりました。特に、電子 デバイス部門が半期での過去最高益となる大幅増益 を実現し、課題のデジタルプロダクツ部門も、テレビ・ パソコン事業の構造改革を積極的に実行した結果、 第2四半期(7-9月)の損益は、前四半期(4-6月)比で 改善しました。構造改革については、10月にポーランド のテレビ工場の売却を決めるなど、継続的に進めて おり、今年度下期の黒字化をめざします。

税引前損益は519億円、当期純損益は、税金費用



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日ごろから多大な ご理解とご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

本株主通信は

2013年9月末時点での株主のみなさまに お送りいたしますことをご了承ください。

財務面では、D/Eレシオ*が138%(前年同期比 30ポイント向上)、株主資本比率も18.5%(前年同期 比3.4ポイント向上)とそれぞれ大幅に改善しました。 剰余金の配当(中間)は、1株あたり4円といたしました。

上期の業績が好調に推移したことを受けて、2013 年度通期の業績予想は、売上高6兆3.000億円(期初 計画比2.000億円増収)、営業損益2,900億円(期初 計画比300億円増益)とそれぞれ上方修正しました。

10月からは、新しい経営方針を実現するための体制 がスタートしました。ヘルスケア部門は、現行事業の領 域拡大と予防・予後ビジネスの拡大に取り組みます。 電力・社会インフラ部門、コミュニティ・ソリューション 部門は、川崎市に開設したスマートコミュニティセン ターに11月以降集結し、地域連携、グローバル展開 の強化をめざします。これらの新体制のもとでエネル ギー、ストレージ、ヘルスケアの3つの事業の柱を中心 に、「創造的成長の実現」をめざしてまいりますので、 引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

2013年12月

代表執行役社長 田中 久雄

* 株主資本に対する有利子負債の割合

2013年度第2四半期累計期間(4-9月) 連結決算概要

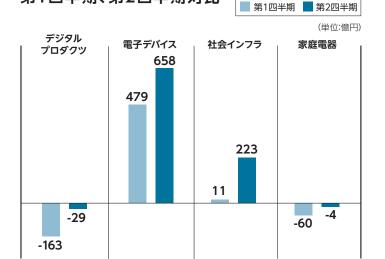
2013年度第2四半期累計期間の連結決算の詳細は、

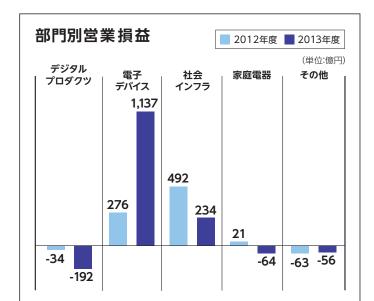
第2四半期累計期間連結業績(単位:億円)

	2012年度	2013年度
売 上 高	26,859	30,392
営業損益	687	1,056
税引前損益	427	519
当期純損益	251	215
為替換算レート (円/ドル) (実績) (円/ユーロ)	80 101	98 128

2012年7月に買収した米国IBM社のリテール・ストア・ソリューション事業に関する取得金額の資産および負債への配分完了に伴い、2012年度の数値を一部遡及的に組み替えて表示しています。

2013年度部門別営業損益における主要4部門の第1四半期、第2四半期対比 -





デジタル プロダクツ

- 部門全体では悪化したものの、 東芝テックは増益を達成し、液晶テレビは、 事業構造改革の効果等により改善。
- ■パソコンは需要減の影響により赤字となったが、 第2四半期は前四半期に比べ半分に縮小。

電子 デバイス

- NAND型フラッシュメモリの好調に加え、 システムLSIも第2四半期では黒字化。 ニューフレアテクノロジー社の新規連結による 効果もあり、部門全体では半期ベースでの 過去最高益を更新する大幅増益。
- ■ストレージは、パソコンの需要減による 影響を受けたものの、利益を確保。

社会 インフラ

家庭電器

- ■太陽光発電やエレベータ、医用システムは 増益を達成し、火力発電システムは、減益となるも 引き続き高い利益水準を維持。 国内原子力の減収や、海外原子力における 燃料事業の悪化等の影響により、部門全体では減益。
- ■円安による影響を受け、白物家電を中心に対前年同期で 悪化したものの、第2四半期は前四半期に比べ改善。

部門別営業損益の「その他」には、主な事業として物流サービスなどがあります。 また、部門間消去は2012年度-5億円、2013年度-3億円です。



電子デバイス部門が好調な理由は?

スマートフォン、タブレット、SSD*などの需要拡大を受け、最先端技術を採用した競争力あるNAND型フラッシュメモリを市場の需給バランスを意識しながら拡販したことで、NAND型フラッシュメモリの販売が好調に推移しました。

また、半導体製造装置メーカーである(株)ニューフレアテクノロジーを新たに連結子会社とした効果も加わり、電子デバイス部門全体で大幅な増収となりました。 損益面でも、半期で部門全体の過去最高を更新する 大幅な増益となりました。 決算 Q&_A

デジタルプロダクツ部門の映像(テレビ)・ パソコン事業の損益は改善したのか?

下年度から実施している構造改革の効果は着実に現れており、前四半期比でも損益は改善してきています。映像事業については7月に追加施策を公表し、人員削減に踏み込むなどあらゆる面からのコスト削減、業務効率化、機種の絞り込み等を行い、下期後半にかけてその効果が見込まれています。本年10月には、液晶テレビ生産拠点東芝テレビ中欧社を台湾・コンパル社へ売却することを決定しました。生産については、自社製造拠点を今年度中に一か所に集約し、グローバル生産委託比率を現在の40%から2014年度までに70%に引き上げる予定です。パソコン事業については現在、売価・コストを含め抜本的な改善施策を検討しており、早急に実行に移すことで下期後半にさらなる損益改善を図り、テレビ事業とあわせて下期中の黒字化をめざしています。

*SSD:ソリッド・ステート・ドライブ

2013年度通期業績予想の修正(新組織ベース)

2013年度上期の業績を受けて通期の業績予想を上方修正しました。

10月からの新しい組織および2012年度比での部門別計画を以下でご覧ください。

(単位:億円) 今回 12年度 部門 差 業績予想 実績 17.900 16.323 1.577 電力・社会インフラ 13.600 11.791 1.809 コミュニティ・ソリューション ヘルスケア 4.200 3.796 404 売 上 17.700 13.599 4.101 電子デバイス 12,700 12,698 2 ライフスタイル その他 5.200 4.988 212 4.997 63.000 | 58.003 連結計 -21 電力・社会インフラ 830 851 コミュニティ・ソリューション 580 427 153 ヘルスケア 62 300 238 電子デバイス 2,100 912 1,188 ライフスタイル -370 -423 53 その他 -40 -66 26

※2013年10月1日付で実施した組織変更に伴い、本項において現組織ベースの セグメント情報を表示しています。(監査・レビュー前)

2.900

※連結計には、セグメント間消去等として以下の金額が含まれています。

13年度 売上高 -8,300億円 営業損益 -500億円 12年度 売上高 -5,192億円 営業損益 -5億円

連結計

組織再編に伴う部門の変更

lΒ

新

デジタルプロダクツ 事業部門

デジタルプロダクツ&サービス社 東芝テック

電子デバイス事業部門

セミコンダクター&ストレージ社

ODD事業統括部

社会インフラ事業部門

電力システム社

社会インフラシステム社

東芝エレベータ

東芝ソリューション

東芝メディカルシステムズ

家庭電器事業部門

東芝ホームアプライアンス

東芝ライテック

東芝キヤリア

電力・社会インフラ事業部門

電力システム社

社会インフラシステム社

コミュニティ・ソリューション事業部門

コミュニティ・ソリューション社 東芝エレベータ

東芝ライテック 東芝キヤリア

東芝テック

ヘルスケア事業部門

ヘルスケア事業開発部

東芝メディカルシステムズ

電子デバイス事業部門

セミコンダクター&ストレージ社

部品材料事業統括部

ODD事業統括部

ライフスタイル事業部門

デジタルプロダクツ&サービス社

東芝ホームアプライアンス

クラウド&ソリューション社

東芝ソリューション

川崎市にスマートコミュニティセンターを開所

本年10月末、川崎市にスマートコミュニティセンターを開所しました。順 次スマートコミュニティ関連事業の従業員約7.800名が同センターに集 結、異部門間の連携を円滑に行える環境で相乗効果の創出を図ります。 周辺地域に位置する研究所、工場との連携も強化することで、スマートコ ミュニティの実現に向けた取り組みをグローバルに加速します。



快適性と省エネルギーを 高いレベルで両立 ビル全体での省エネ率 32%

1.934

966

* 省エネルギー法における基準年間消費一次エネ ルギー量に対する比較



スマートコミュニティセンター内に 東芝未来科学館を新設 (2014年2月1日オープン予定)

スマートコミュニティの実現に不可欠 な最新技術と科学原理を、わかりやす くご紹介し、地域・社会への貢献にも 活用していきます。

各地で進むスマートコミュニティ実証実験

・川崎駅周辺地区スマートコミュニティ実証事業

エネルギーの効率的利用やICTを活用した地域の活性化に向けた プロジェクトを川崎市と連携して取り組んでいきます。

- ・ビル群エネルギー管理による省エネ実証実験を開始
- ・川崎駅前商業施設のテナント情報をクラウド上で
- 連携させたコマース実証を実施
- ・将来的に防災・交通・ヘルスケア等の分野への展開を検討

横浜スマートシティプロジェクト

大都市地域での需要ピーク抑制・地域 エネルギーの安定化を実証しています。 <道λ日標>

HEMS*1:4,000世帯 BEMS*2:延床80万㎡

*1 ホームエネルギーマネジメントシステム *2 ビルエネルギーマネジメントシステム 電気自動車: 2,000台

・フランス・リヨン市コンフルエンス再開発地区実証

街・ビル・家庭・交通(電気自動車)の組み合わせで地域全体のエネ ルギー利用を見える化するなど、地域全体の排出ガスのゼロ化をめ ざしています。

・米国・ニューメキシコ州日米スマートグリッド実証

太陽光発電導入の進む地域での需要・供給双方の制御による系統 安定化を実証し、スマートグリッド技術の深耕をめざしています。



トピックス

電力・社会インフラ グローバル展開強化

インドで変圧器および開閉装置の新会社を設立

本年9月、インド・ヴィジャイエレクトリカル社の電力・配電用変圧 器や開閉装置事業(以下T&D事業)の買収を合意しました。新会 社を設立し、当社の最新鋭の設計・製造技術と製品ラインアップ

を新会社に加えてT&D製品のグロー バル供給体制を確立します。また、イン ド国内向け電力用パワーエレクトロニ クスシステム事業、鉄道用電力システ ム事業にも参入する計画です。



ヴィジャイ社の配電用 **珪素細板変圧器工場**

ヘルスケア ニュー・コンセプト・イノベーション製品化

世界初「医療用裸眼3Dディスプレイ」を発売

東芝メディカルシステムズ(株)は、裸眼で立体視できる医療用裸 眼3D(3次元)ディスプレイを開発し本年9月から販売しています。 本製品により、エリアディテクターCTシステム Aquilion ONE™ /ViSION Edition(アクイリオン ワン ビジョンエディション)で 撮影された医療データを裸眼で3D画像として見ることができま す。これは、東芝グループ内の映像技術などを活用し、使い手の 視点に立った新しい顧客価値の創造をめざすニュー・コンセプト・ イノベーションの1つとして

製品化したものです。



裸眼3Dディスプレイを搭載した最先端CT

電子デバイス 情報化社会に対応した製品強化

ポータブルハードディスクの新商品を発売

専用ソフトをインストールしたパソコンに接続することで、スマー トフォンやタブレットから保存されたデータにアクセスすることが できる*ポータブルハードディスク「CANVIO CONNECT(キャ ンビオコネクト)」と「CANVIO SLIM(キャンビオスリム)」を開発し、 10月から販売を開始しました。近年の映像や写真の高画質化に

伴う大容量記憶装置のニーズを受 けて、今後も高機能で大容量の商品 開発を強化していきます。

*本商品に内蔵されたソフトウェア「Pogoplug® PC」 をインストールしたPCをインターネットに接続し、 スマートフォンやタブレットには専用のアプリケー ション「Pogoplug」をダウンロードする必要があり ます。



ポータブルハードディスク **[CANVIO CONNECT** (キャンビオコネクト)」

電力・社会インフラ 新規受注

英国、米国向けスマートメーターなどを受注

本年9月、当社のグループ会社であるランディス・ギア社(以下 L +G社)は、英国最大手の電力・ガス事業者であるブリッティシュガ ス社と英国中南部の約1.200万世帯に設置するスマートメー ター(電気・ガス)などスマートメーターなどの納入に関する契約を 締結しました。受注金額は約900億円です。さらに11月には、米 国テキサス州の電力事業者であるCPSエナジー社とスマートメー ター70万台を供給する契約を締結しました。

なお、L+G社は、国内で当社がシステムインテグレーターとして受 注した東京電力(株)のスマートメーター用通信システムに関し、 通信部からヘッドエンド(終端機器)までの一連のシステムを担当 します。

電子デバイス 最先端プロセス製品拡大

組込み式NAND型フラッシュメモリの新製品を発売

当社は、スマートフォンやタブレットなどの携帯機器向けに、コント ローラチップを一体化した制御機能付の組込み式NAND型フラッ シュメモリ(e・MMCTM*1)を製品化しました。32ギガバイト(以下 GB)と16GB製品を11月下旬から量産しています。

19ナノメートル*2第二世代プロセス(加工)技術の採用により、従来 製品*3に比べてパッケージ面積が22%小型化し、処理速度も大き

く向上しています。今後も大容量メモリ製品 のラインアップを強化していきます。



*1 embedded MultiMediaCard。JEDECの規格に準拠し た組込みメモリで、JEDECの登録商標。

*2 10億分の1メートル

*3 19ナノメートル第一世代プロセスを用いた高速クラスの 組込み式NAND型フラッシュメモリ(e・MMCTM)。

最先端プロセスを用いた 組込み式NAND型 フラッシュメモリ

ライフスタイル 液晶テレビ新商品

高画質映像を実現する「レグザZ8シリーズ」などを発売

液晶テレビ「レグザ(REGZA)」の新商品として、鮮明で自然な色 彩の高画質映像を実現する直下型広色域LEDバックライトと、 明瞭で迫力ある音響を実現する新スピーカーを採用した「レグザ

Z8シリーズ」など、2シリーズ6モデルを10月か ら順次発売しています。見たい過去番組を好き な時に楽しめる「タイムシフトマシン」(「Z8シ リーズ]に搭載)など便利な機能を向上させ、さ 液晶テレヒ [レグザ(REGZA) らに使いやすくなりました。



液晶テレビ Z8シリーズ」

ライフスタイル 家庭電器新商品

汚れが付かない洗濯槽のドラム式洗濯乾燥機を発売

ステンレス洗濯槽の外側の汚れ付着防止の加工をした「ヒートポンプドラムZABOON(ザブーン)」 TW-Z96X1を11月中旬から発売しました。東芝のホームITシステム「フェミニティ」(別売*)との 接続により、洗濯終了を携帯電話にメールでお知らせするなどのサービスが利用可能です。



* 別売のホームゲートウェイ(通信制御機器)、専用アダプタ と、フェミニティ倶楽部への入会(有料)が必要です。

株式会社 東 🕶 〒105-8001 東京都港区芝浦一丁目1番1号 TEL (03)3457-4511(代表)

株式事務についてのご案内

株主名簿 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 管理人 三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

東芝専用ダイヤル 000 0120-78-6502

ご意見・資料請求は株式会社東芝 広報・IR室あてにお送りください。 投資家情報サイト

http://www.toshiba.co.jp/about/ir/

本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画 や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の 予想と異なることがありますことをご承知おきください。



